

2025年度 保護者向け 放課後等デイサービス評価表（保護者等からの事業所評価の集計結果）		公表日2026/3/31	
アンケート期間：2026/3/6-2026/3/14		回答者/アンケート実施者：13人/27人	
質問	Growup岡崎上地	選択肢ごとの回答数	意見・自由記述
こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい:10 / どちらともいえない:3		ご意見を踏まえた対応
職員の配置数は適切であると思いますか。	はい:11 / わからない:1 / どちらともいえない:1		
生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	はい:12 / どちらともいえない:1		
生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	はい:11 / わからない:1 / どちらともいえない:1		
こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	はい:12 / わからない:1		
事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	はい:10 / わからない:2 / どちらともいえない:1		
こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	はい:13		
放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	はい:10 / わからない:3		
放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	はい:12 / わからない:1		
事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	はい:11 / どちらともいえない:2		
放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	はい:7 / いいえ:2 / どちらともいえない:2 / わからない:2		
事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	はい:12 / どちらともいえない:1		
「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	はい:13		
事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	はい:10 / わからない:2 / どちらともいえない:1		
日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	はい:12 / どちらともいえない:1		
定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	はい:12 / どちらともいえない:1		
事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	はい:13		
父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	わからない:5 / どちらともいえない:4 / はい:3 / いいえ:1		
こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	はい:11 / わからない:1 / どちらともいえない:1		
こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	はい:12 / どちらともいえない:1		
定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	はい:11 / わからない:2		
個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	はい:11 / わからない:2		
事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	はい:12 / わからない:1		
事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	はい:13		
事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	はい:11 / わからない:2		
事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	はい:11 / わからない:2		
こどもは安心感をもって通所していますか。	はい:13		
こどもは通所を楽しみにしていますか。	はい:10 / どちらともいえない:3		
事業所の支援に満足していますか。	はい:12 / どちらともいえない:1		
職員の印象・態度・対応について [言葉遣い]	よい:10 / おおむねよい:3		
職員の印象・態度・対応について [身だしなみ]	よい:11 / おおむねよい:2		
職員の印象・態度・対応について [送迎時の対応]	よい:11 / おおむねよい:2		
職員の印象・態度・対応について [電話等の連絡対応]	よい:10 / おおむねよい:3		
職員の印象・態度・対応について [お子様への対応]	よい:10 / おおむねよい:3		
職員の印象・態度・対応について [相談のしやすさ]	よい:10 / おおむねよい:3		
具体的なエピソードや改善点があればご記入ください（任意）			・子どもから、よくスタッフさんの話しも聞きますが、印象のよい話しを聞くことが多いです。
祝日に開所した場合は参加利用を検討しますか？	いいえ:4 / はい:4 / どちらともいえない:3 / わからない:2		
支援参加日(実際に施設での様子を見学する)等があれば参加を希望しますか？	はい:10 / どちらともいえない:3		
外出、調理、工作などの活動で1ヵ月に出しても良い金額はいくらが妥当と考えますか？	500円～1,000円:7 / 500円以内:3 / 1,000円～1,500円:3	・活動の内容にもよりますが、1,000円以上でも妥当かなと思う活動であれば、出します。	今後もお子さまにとって経験や成長につながる活動を大切にしながら、内容と費用のバランスを検討し、保護者の皆様にご納得いただけるよう工夫してまいります。
施設を利用してからのお子様の変化等ありましたらご記入ください(任意)			お子さまの成長について共有いただき、ありがとうございます。 日々の積み重ねの中で、そのような変化が見られていることを大変嬉しく感じています。 ・礼儀正しくなりましたし、学校での言葉使い等、褒めていただくことが増えました。
施設での活動や就労作業等で取り入れてほしいこと等ありましたらご記入ください（任意）			貴重なご意見をありがとうございます。 活動内容のバランスを見直しながら、体を動かす機会をより取り入れていけるよう検討してまいります。 ・体を動かす事を増やしてほしい。
その他施設への要望等ありましたらご記入ください(任意)			
お子様は現在(今年度時点)	小学生:12 / 中学生:1		
中学進学時の進路について現在の考えをお聞かせください	普通中学・一般級:6 / 普通中学 支援級:5 / 特別支援学校:1		
進学先について考えていることや不安な点があればご記入ください(任意)		・子供に合うところが見つかるか心配です。 ・不安なことだらけです。。	施設としても、情報提供やご相談の機会を大切にしながら、お子さまに合った進路を一緒に考えていけるよう支援してまいります。
高校進学時の進路について現在の考えをお聞かせください	検討中:5 / 一般高校:4 / 特別支援学校:4		
進学先について考えていることや不安な点があればご記入ください(任意) [2]		・工業高校へ本当に進学できるか心配 ・ちゃんと自立して通えるか心配	進学に向けては学習面だけでなく、通学や生活面の力も大切になります。 日々の活動の中で、将来を見据えた力を少しずつ身につけていけるよう支援するとともに、必要に応じて進路に関する情報提供やご相談にも対応してまいります。
高校卒業後の進路について現在の考えをお聞かせください	検討中:11 / 福祉サービス利用（就労移行、就労継続A・B型、自立訓練、生活介護など）:1 / 進学(大学・短大・専門学校):1		
進学先や卒業後の生活について、具体的に考えていることや不安な点があればご記入ください(任意)			
「自立訓練（生活訓練）」という福祉サービスを知っていますか？	よくわからない:4 / 知らない:3 / 知っている:3 / 名前だけ知っている:3		
「自立訓練（生活訓練）」とは、自立した生活を送れるよう、期限（原則2年）を設けて「日常生活に必要なスキル」を身につけるためのトレーニングを行う福祉サービスです。どのような支援があれば、「利用してみたい」と思いますか？（複数選択可）	コミュニケーションの練習:7 / 実習・社会権権を積み重ねる機会:7 / 家事練習:6 / 学習サポート:4 / 生活リズムの改善:3 / 趣味・関心・興味に合わせた個別支援:3 / メンタル面のサポート:3 / 特に必要ない:1 / よくわからない:1		
「自立訓練（生活訓練）」について、ご意見がありましたらお書きください。（任意）			
将来、お子様の一人暮らし（サテライト型住居含む）やグループホームでの生活に興味はありますか？ ※「サテライト型住居」とは？ひとり暮らし用のアパートで生活しながら、必要ときにグループホームの支援（食事や相談など）を受けられる住まいのことです。	ある:6 / あまりない:4 / よくわからない:2 / 全くない:1		
グループホームとは、地域の中で支援員からサポートを受けながら、数人で共同生活を送る場所です。どのような支援があれば、「利用してみたい」と思いますか？（複数選択可）	コミュニケーション支援:7 / 相談できる大人がいる:5 / 生活リズムの安定:4 / 就労・進路の準備:4 / 食事・健康のサポート:4 / よくわからない:3 / 規則正しい生活:3 / 特に必要ない:1		
「グループホーム（共同生活援助）」について、ご意見がありましたらお書きください。（任意）			
短期入所(ショートステイ)について知っていますか？ ※ 短期入所（ショートステイ）とは、施設に短期間宿泊し、生活支援を受けるサービスです。ご本人の気分転換、将来の自立に向けた「宿泊の練習」、ご家族の休息（レスパイト）を目的としたサービスです	知っている:9 / 名前だけ知っている:3 / 知らない:1		
障社の運営する短期入所(ショートステイ)グローアップショートステイを利用したことがありますか？	知らない:1 / よくわからない:7 / 現在は利用していないが、今後利用したい:3 / 時々利用している:1 / 利用を検討したが、断念した:1 / 定期的に利用している:1		
短期入所をご利用する理由について当てはまるものを選択してください(複数選択可)	本人の自立(経験)のため:2 / 家族の休養(レスパイト)のため:2 / 本人の気分転換のため:1 / 家族が家を空ける等緊急時のため:1		
短期入所施設に対する要望(任意) 例：祝日営業してほしい等		・祝日も営業があれば助かります	祝日の営業についてのご要望をいただき、ありがとうございます。 現在の運営体制も踏まえながら、今後の営業日について検討してまいります。
利用に結び付かなかった理由で当てはまるものを選択してください(複数選択可)	年齢的に早い:2 / サービスの内容がわからない:1 / 他所のサービスを利用している:1 / 使い方がわからない:1 / Lm:1		
短期入所施設に対する要望(任意) 例：体験会をしてほしい等			

2025年度放課後等デイサービス事業所従事者向け自己評価表(事業所における自己評価結果)

公表日2026/3/31

アンケート期間：2026/3/6-2026/3/14

Growup岡崎上地

回答者8名

質問	評価結果	工夫している点	課題や改善が必要な点
利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	はい:8	・学習室とフリー活用場所を考え使い分け ・広い部屋で全体の把握が行いやすい ・有効な支援のためにスペースを区切って使用している ・必要がないもの、使っていないものの片付けで、スペースを開ける ・活にによって区切りがつけられている	・個室の利用内容を考え、安心して使えるよう学習、フリースペースの配置 ・学習室や中央の個室の使い方 ・玄関付近が無防備する ・日々変わっていく状況に利用者へここが変わったと伝えていく時間
利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	はい:8	・送迎に対しての必要人数、活動に必要な人数と振り割りを考えている ・特になし ・指導する人、活動を行う人と様子を見ながら進めている	・土曜など利用者と職員の人数調整 ・人がいても無資格では人員配置ができていないことになる ・特になし
生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	はい:8	・障害者施設におけるバリアフリーは万全である ・生活の流れなどを明記している ・動線と考えた準備等 無駄な動きをなくするように考えている ・視覚支援 順序など見えるところに貼る	・情報共有や発信など、情報漏洩など徹底して行なっていく ・今までのリフォームが必要なことだったのが無駄なことだったのかを考え、改善点にしていてほしい ・漢字が読めない利用者へ伝えていく方法
必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	はい:8	・夜間や学習など集中して学習に取り組めるよう学習室の利用を行っている ・クールダウンに使うことができる ・今ある物を有効に使うようにしている ・利用者本人がクールダウンしたい、別部屋に行きたいと言ったからスムーズに場所を探す ・空き部屋を使ってさまざまな使い方をしている	・学習をする際によりよくスペースを活用できるよう、使用人数やローテーションなどを考える ・時々、部屋に行く前に、まだ頑張れる？と声がけしてしまう
業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	はい:8	・朝礼などで定期的に行っている ・朝の朝礼時に確認や共有をし改善箇所を話し合っている ・小さなことでも共有し相談、事業に関わるように指示してなるべく全員参加できるようにしている ・1日について、振り返りの時間を作る	・目標設定があいまい、全スタッフに伝わりきっていない ・意見を参考にさせてもらう ・これからもっとその時間ができると嬉しい
保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	はい:8	・土長から、共有しておくべき情報が伝わる ・どんな些細なことでも、土長が話を聞いてくれる時間を作ってくれる ・毎日始まりに職員全員で活動内容近況報告などを行っています	・個別だけでなく、全体にも相談できるようにしていきたい
職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	はい:8	・特になし ・研修を受けられる機会があれば積極的に参加している ・書面化し、全員ですり合わせをする	・行われているかわからない ・分かりません
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	はい:5 / いいえ:3	・分かりません	・行われているかわからない ・分かりません
職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	はい:7 / いいえ:1	・特になし ・研修を受けられる機会があれば積極的に参加している ・書面化し、全員ですり合わせをする	・研修を一度も受けていないので、受けたい。特に対面形式でやるような研修は無いのでしょうか
適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	はい:8	・特になし	・振り返り、次回に改善に繋がるようにまできっかりやりたい
個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	はい:8	・特になし	・特になし
放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	はい:8	・些細なことでも、伝える	・保護者と話す機会が少ない
放課後等デイサービス計画が職員間にも共有され、計画に沿った支援が行われているか。	はい:8	・目標にするなど、全スタッフに伝えるようにする	・細かい部分まで伝わりきれない
こどもの行動活動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	はい:7 / いいえ:1	・どのスタッフでも見えるようにしてある	・知識として得て、しっかり支援に変えていきたい
放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のわらわ及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	はい:8	・特になし	・特になし
活動プログラムの立案をチームで行っているか。	はい:7 / いいえ:1	・土長に確認、教えて貰う	・もっと細かい部分まで詰めていきたい
活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	はい:8	・同じ活動内容でも、ルール変更をしたり、細かい部分を変える ・職員とミーティングを随時開催して意見を出し合っている ・計画は土長が行っているため分らないが、少しでも良い支援ができるように努めている	・他の施設の活動方法も見えてみたい
こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	はい:8	・すり合わせを行い活動に怪我をする危険性がないかなど話し合っている ・申し合わせ、すり合わせを行っている ・その日のうちにできなかった話は次の日の朝礼で共有している。 ・送迎に出てしまうと、そのまま振り返りができないことがある ・記録以外でも終礼や朝礼で特に気になることはすくく共有している ・活動の様子など、連絡帳に書く前に個別に書き出しをする。2人、3人と目標が違っても内容も違う	・もう少し踏み込んだ内容ですり合わせをできたら良いと思う ・次の日にでも、必ず振り返りができるようにしたい
支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	はい:8	・特になし	・特になし
支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	はい:6 / いいえ:2	・特になし	・特になし
日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	はい:7 / いいえ:1	・土長が行っている	・連絡帳を書くスタッフだけの観点にならないようにしたい
定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	はい:8	・土長が行っている	・土長が行っている
放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	はい:8	・土長からの声かけにより、意識出来ているように感じる	・全スタッフが共通認識でいたい
こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	はい:8	・こちらが全て決め切るのではなく、あなたはどうしますか？と聞ける体制、声かけ支援をする	・全スタッフが同じようにできるようにになりたい
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	はい:8	・児童館や施設長、子についてよく分かっている職員が参加している ・土長が行っている	・土長が行っている
地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	はい:8	・土長が行っている	・土長が行っている
学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	はい:7 / いいえ:1	・週予定を提出したかなど、個別チェックできるようにする ・相談事業所の方とは随時連絡取り合っている ・土長が行っている	・2重、3重チェックをしても、思い込みで漏れが出来てしまうことがある。2人以上のチェックが必要なものもある ・就学前の事業所の方と情報共有は親御さんからの情報のみとなっている。 ・土長が行っている
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	はい:6 / いいえ:2	・土長が行っている	・土長が行っている
学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	はい:7 / いいえ:1	・土長が行っている	・土長が行っている
地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	はい:5 / いいえ:3	・詳しくは分からない	・詳しくは分からない
放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	はい:5 / はい:3	・特別感ない ・機会がない	・他施設との交流があるかが分からない ・特別感ない ・機会がない
(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	はい:4 / いいえ:4	・全スタッフに共有できるようにしている	・文章だけでなく、土長の言葉から聞いて雰囲気かわかることもあるのかな、と感じる
日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	はい:8	・全スタッフに共有できるようにしている	・行われているかどうか分からない ・特になし
家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	はい:5 / はい:3	・特になし	・特になし
運営経路、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	はい:8	・土長が行っている	・土長が行っている
放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	はい:8	・土長から話を伺っている	・特になし
「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	はい:8	・土長が行っている	・土長が行っている
家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	はい:8	・保護者と少しでも話す機会があれば、おうちの様子など聞いている	・もっと、他のスタッフも保護者とゆっくり話す機会があったら良いと感じる
父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	はい:6 / はい:2	・特になし	・行われているかが分からない ・特になし
こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	はい:8	・スタッフ間で共有出している	・細かいところまで話が聞けると良いと感じる
定期的な通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	はい:6 / いいえ:2	・特になし	・特になし
個人情報の取扱いに十分留意しているか。	はい:8	・外部に持ち出さないようにしている	・外部に持ち出さないようにしている
障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	はい:8	・目標を合わせること、距離感に気を付けている ・子ども食堂を定期的に行っている ・子ども食堂を開催しているのと伺ったことがある ・夏のお祭りは楽しかった	・なるべく高い声を出さない、落ち着いた声で話そうにしている ・年に何回かあるといいな、と感じる
事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	はい:5 / いいえ:3	・毎月避難訓練を行なっている。 ・避難訓練を行っている	・声を出さないでの移動、終了後の利用者が落ち着いて過ごせるように声がけする
事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	はい:8	・東日本大震災の日に、避難訓練を行った ・服薬がある子は把握しているつもり	・電気系統もどうするかなど、スタッフ間で共有できた ・全スタッフが共通認識を持てるようにしたい
事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	はい:7 / いいえ:1	・保護者からの伝えがある利用者のものとしが把握できていない	・何かが内容に、徹底したい
食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	はい:6 / いいえ:2	・土長が行っている	・土長が行っている
安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	はい:8	・施設では避難訓練を怒っていますが...保護者には伝わっていないかも	・特になし
こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内部について、家族等へ周知しているか。	はい:7 / いいえ:1	・ヒヤリハットがあったら、記入して全スタッフで教諭している	・特になし
ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	はい:8	・特になし	・特になし
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	はい:7 / いいえ:1	・研修をやって欲しい、行きたい	・とにかく知識を入れたい、なので研修をやりたい
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	はい:8	・しっかりと個別支援ファイルに書いてある	記載なし

公表 事業所における自己評価総括表

公表日2026/3/31

○事業所名	Growup岡崎上地
○保護者評価実施期間	2026/3/6-2026/3/14
○保護者評価有効回答数	13
○従業者評価実施期間	2026/3/6-2026/3/14
○従業者評価有効回答数	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026/3/26

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員と利用者様の関係性の良さ・安心できる環境	・子ども一人ひとりに応じた声かけや関わりを意識し、安心して過ごせる環境づくりを行っている ・子どもの気持ちに寄り添いながら関係を築くことを大切にしている ・日々の様子を保護者へ丁寧に伝え、家庭との信頼関係構築にも努めている	・個々の特性に応じた関わり方の共有と職員間の統一 ・保護者との連携強化（面談や相談機会の充実） ・安心感を基盤とした自己表現や主体性の引き出しの強化
2	子どもの成長を引き出す支援（生活面・社会性）	・挨拶や礼儀、言葉遣いについて日常的に繰り返し伝えている ・やるべきことを意識できるよう、具体的に分かりやすい声かけを行っている ・できたことをその都度認め、自信につながるよう支援している	・発達段階に応じた個別支援の充実 ・成功体験を積み重ねられる支援の強化 ・将来の自立を見据えた生活スキルの段階的な支援
3	活動内容の質が一定の評価を得ていること	・活動ごとに目的やねらいを設定し、経験として意味のあるものとなるよう工夫している ・子どもが主体的に参加できるよう内容や進め方を調整している ・活動内容について保護者へ共有し、理解につながるよう努めている	・活動内容の多様化（運動・外出・体験活動の充実） ・子どもの興味関心に応じた活動の導入 ・費用と内容のバランスを意識した活動設計の見直し

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動・身体活動の機会が不足していること	・活動スペースや時間配分の制約により、十分な運動時間の確保が難しい ・室内活動が中心となり、活動内容に偏りが生じている	・外出活動やレクリエーションの見直しにより運動機会を確保する ・子どもが楽しみながら取り組める運動プログラムの導入
2	進路に関する不安への対応が十分でないこと	・中学・高校進学に関する情報提供の機会が限られている ・個別相談の機会が十分に確保できていない ・進路支援に関する体系的な取り組みが不足している	・進路に関する情報提供（資料配布・説明機会）の充実 ・保護者との面談や相談機会の強化 ・学校や関係機関との連携を図り、具体的な進路選択を支援する ・日々の支援の中で将来を見据えた力の育成を意識する
3	祝日開所など利用ニーズへの対応が十分でないこと	・人員配置や勤務体制の制約がある ・運営体制上、営業日の拡大が難しい状況にある ・ニーズの把握や優先度整理が十分でない	- 保護者ニーズの把握（アンケートや聞き取り）の継続 ・営業日や開所体制の見直しについて段階的に検討する ・無理のない範囲での部分的な対応（イベントの開所等）の可能性を検討する